

7事業所が協力し、高齢者見守りへ連携

## 高齢者等見守りネットワーク発足

### 高齢者を地域で見守る

本町と新聞店、ガス、電力会社などの7事業所は8月1日、「高齢者等見守りネットワーク推進事業」に関する協定を締結しました。

本町の65歳以上の高齢者の割合を示す高齢化率は、県内で最も高い42%（4月1日現在）。日ごろ町内をきめ細やかに回っている事業者が、地域のお年寄りの急病や異変に、いち早く気付き報告をしてもらうことで、関係機関が連携して支援につなげます。

### 異変に気付く

- ▼ 支援方法は、配達などの日々の業務中に、
  - ▼ 新聞が数日分たまっていて
  - ▼ 洗濯物が数日間干したままなどの異変を感じる
  - ▼ 配偶者や子どもからの虐待が疑われる場合
  - ▼ 悪徳業者の被害にあっている様子
- などの異変に気付いた場合、



▲⑥佐藤町長と事業所を代表して⑤中部電力(株)島田営業所長が調印を

町福祉課に連絡され、本町地域包括支援センター職員が該当宅に訪問し安否を確認し、必要があれば関係機関と支援を検討する仕組み。

調印式で佐藤町長は、「過疎高齢化が進む中、見守り体制の協力が感謝します」と述べました。

### 【協力の7事業所】

住谷新聞店、井澤新聞店、滝澤新聞店、工藤新聞店、ヤマト運輸(株)川根本町センター、(株)川根ガス、中部電力(株)島田営業所

自宅の風呂釜や給湯ボイラーを薪システムに変更する、または薪ストーブを設置する場合に補助を行います。本町は県内でも有数の森林面積を誇りますが、木材価格は過去にない安値が続いており、一方で、石油・天然ガスの価格は年々上昇しています。

薪を使えば石油の約半分のコストに抑えられます。私たちの身近にある資源を活用し、日々の生活に役立てましょう。

### 【補助事業の内容】

薪などの木質系の燃料を使用するストーブ、給油ボイラー、風呂釜を設置する場合に補助をします。

### 【申請者・設置場所】

申請者が町民で、設置場所は町内の住宅等(併用住宅、店舗、工場、事務所を含む)が対象です。

### 【補助金について】

設置費用の1/5以内を補助します。(千円未満切り捨て、既にある設備の撤去費用は対象になりません。)

補助金の上限は5万円です。

## 薪で沸かすお風呂に入りませんか

森林(もり)のエネルギー導入促進事業費補助金



▲風呂釜の設置例 (コンパクトです)

- ※設置参考価格は次のとおり
- ▼薪ストーブ
  - ダルマストーブ(5〜10万円)
  - 薪ストーブ(35〜70万円)
- ▼焼却兼用風呂釜 (15万円前後)
- ▼焼却兼用ボイラー (45万円前後)

### 【交付の流れ】

- ①補助金交付申請書を役場に提出し、交付決定を受けてから工事を行います。

- ※見積書、仕様書、工事前の写真、設置場所の見取図を添付。申請書は役場にありませう。
- ②工事が完了次第、実績報告書と請求書を提出します。

※実績報告書には、費用の内訳が記載された領収書の写し、設置状況が分かる写真を付けて提出してください。

「社会を明るくする運動」合同意見・情報交換会

## 町内の犯罪や非行防止に向けて

「社会を明るくする運動」事業の一環として8月6日、山村開発センター大会議室で、「町内の犯罪や非行防止に係る合同意見・情報交換会」が開催されました。

杉山教育長をはじめ、保護司、更正保護女性会、人権擁護委員、駐在所警察官、学校関係者、民生委員・児童委員らの約60人が参加しました。

### 声掛けが犯罪・非行の抑制に

島田警察署生活安全課の島居係長から「川根本町は、犯罪発生件数や補導件数は他市町に比べ、少ない傾向にある」と犯罪・非行等の現状について報告がありました。これは、駐在所警察官や地域の皆さんの声掛けが効果的であるという意見が多数ありました。

### 脱法ドラッグは犯罪の入り口

島田警察署管内でも身近に迫っている「脱法ドラッグ問題」を取り上げ、薬物乱用の入り口となる脱法ドラッグに

ついて、青少年犯罪を未然に防ぐため、地域での指導を含め協力の要請がありました。

### 各種問題に対し意見と提案が

意見交換会では、いじめ問題、携帯電話やパソコンの使用問題、交通事故など、さまざまな問題について活発に話し合いが行われました。

本町では、問題となるようないじめの事案はないとの報告を受け、人権擁護委員からは「子どもの中にはいじめられていることを言えない子どももいる。子どもの人権を守る『SOSカード』の認知と活用」と提言がありました。



▲熱心な意見交換を  
▲SOSカード「認知と活用」の提言が

宝くじ助成金を活用して地域防災力の向上を

## 消防団用放送機器・防災資機材を整備しました

財団法人自治総合センターから助成を受け、地域防災組織育成助成事業の一環として、消防団用放送機器、心肺蘇生・AEDトレーニングキットを購入しました。今回の助成により、消防団訓練・式典の充実及び防災訓練の充実と地域防災力の向上が期待されます。



▲消防団用放送機器



▲AEDトレーニングキット

総務課地域支援室 ☎(56)2220

平成24年度川根本町各種相談員研修会を開催

## 相談員の資質向上と相談活動の充実を図るため

中部県民生活センターの磯貝指導員が講師となり、7月26日に本町各種相談員研修会を山村開発センターで開催しました。研修には民生児童委員、人権擁護委員、行政相談員、介護支援専門員ら34人が出席しました。

研修では、悪質商法の手口や現状、地域でできる対処法を学びました。

町内には、さまざまな機関に相談員が配置されています。しかし、近年の多様化・複雑化する相談に対応するには、一つの相談機関だけで解決できるものではありません。

今後も、各種相談機関の連携を深めるとともに、相談員の資質向上と相談活動の充実を目指し、住民福祉の向上に努めていきます。

地域包括支援センター ☎(56)2225